

敬天塾作成	オーストリア＝ハンガリー帝国	オスマン帝国	ロシア帝国	清
中心的支配者層	ドイツ人	トルコ人	ロシア人	満州族
帝国終焉の契機	諸民族の離反 第一次世界大戦敗北	諸民族の反乱 第一次世界大戦敗北 トルコ革命	ロシア革命	辛亥革命
帝国崩壊年	1918年	1922年	1917年	1912年
民族自決との関係	●防共目的で東欧に適用 ●民族自決の制限もみられた。たとえば、独立したチェコスロヴァキアではズデーテン地方問題。また、後継国家であるオーストリアはドイツと統合禁止。	適用なし	バルト三国独立 フィンランド独立	辛亥革命後にチベットとモンゴルが独立を宣言するも阻まれる。 最終的に独立を果たせたのは、外モンゴル(1924モンゴル人民共和国として)。
特記事項		アラブ地域を委任統治という形式で英仏に植民地支配される。クルド人の問題が残る		当初は滅満興漢を謳ったが、革命成功後は五族共和と反軍閥・反帝主義をスローガンに国内統一を進める。
後継国家	オーストリア共和国	トルコ共和国	ソヴィエト政権	中華民国
後継国家の形態	ドイツ人の国民国家	トルコ人の国民国家	連邦制国家	五族共和を旨とした中華民族概念に基づく共和政国家。「国民」の意味を拡張している
統一理念	ドイツ人という民族性	トルコ人という民族性 世俗主義	社会主義 反帝国主義	五族共和(中華民族) 反帝国主義 (暫く後、社会主義)
多民族への対応		住民交換 (because of国民統合)	連邦制	自治
後継国家のその後	1938ドイツに併合	第二次世界大戦末期に連合国側に加わる。	干渉戦争や内戦で混乱 1922ソ連結成	軍閥の割拠や列強の進出で国内は混乱。連ソ容共などを打ち出し北伐も。その後、国共内戦を経て中国共産党が勝利。ソ連と同様に社会主義が国家統合のイデオロギーになる。少数民族に自治を与え
東大大論述 関連年度	1985・1992 1997・2019	1983・1997 2014・2019	1971・1985 1997・2014	1972・1985 1997・2023

16世紀から18世紀はじめまでの間、ムガル帝国の支配がインドの歴史に果たした役割について、政治・経済の面と宗教・文化の面の両面にわたって、300字以内で記せ。なお、本問を解くにあたり、後掲する1990年横浜国立大学、一橋大学1988年、並びに東京大学1975第3問も併せて探究せよ。(東京大学1981年)

ムガル帝国と清帝国の没落ないし滅亡過程の異同を400字以内で比較せよ。

(横浜国立大1990年)

16世紀のインドと17世紀の中国に樹立された二つの帝国には、ある共通する性格があった。そのことを念頭におきつつ、両帝国の支配機構、土地制度、思想・宗教政策の特徴について述べ、さらに、それぞれの帝国を解体に導いた要因を400字以内で記せ。(一橋大学1988年)

イギリスの進出のもとで、19世紀におけるインド・中国の歴史がどのようになっていったかを述べよ。解答には、下記の語群のそれぞれの語を随意の順序で少なくとも一回は用い、かつその語に下線を引いて明示せよ。解答は600字以内で記入せよ。

(東京大学1975年)

三角貿易
産業革命

太平天国
インド帝国

南京条約
公行

東インド会社
セポイの反乱